

**肺癌、腎臓癌、泌尿器癌(腎盂、尿管、膀胱)、消化器癌(食道、胃、大腸、肝臓)、
頭頸部癌、悪性黒色腫の免疫チェックポイント阻害薬治療のため受診中あるいは
受診経験のある患者さんまたはご家族の方へ**

臨床研究に対するご協力をお願い

愛媛県立中央病院では、上記の病気で受診された方の検体や診療情報(カルテ情報)を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。

本研究への協力を望まれない場合、研究についての詳しい情報を希望される場合などは、その旨、以下の「問い合わせ先」までご連絡をお願いします。本研究への協力を望まれない旨のご連絡を頂いた場合は研究対象からは除外させて頂きますので、検体や診療情報は利用されず、また他の研究機関への提供も行いません。

【研究課題名】 免疫チェックポイント阻害薬による内分泌障害に関する研究

【研究の目的】

免疫チェックポイント阻害薬はがん治療において大きなメリットをもたらした一方で、この薬剤特有の副作用も注目されています。その一つに内分泌臓器の障害がありますが詳細についてはよくわかっていません。当院においても同薬剤でがん治療を受けている患者さんが増えてきたため、内分泌障害の特徴を明らかにし治療に役立てる目的でこの研究を計画しました。

【対象となる方】

肺癌、腎臓癌、泌尿器癌(腎盂、尿管、膀胱)、消化器癌(食道、胃、大腸、肝臓)、頭頸部癌、悪性黒色腫の患者さんで、2016年2月1日から2022年5月31日の間に免疫チェックポイント阻害薬(オプジーボ、キイトルーダ、イミフィンジ、テセントリク、ヤーボイ、バベンチオ)の治療を受けた方

【使用する検体・診療情報】

カルテ情報: 診断名、年齢、性別、身体所見、喫煙歴、飲酒歴、合併症、既往歴、血液検査結果、使用薬剤、観察期間(日数)

【研究期間】 2020年6月26日から2025年5月31日

【個人情報の取扱い】

使用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

愛媛県立中央病院

糖尿病・内分泌内科 医監部長 宮内省蔵

【問い合わせ先】

松山市春日町 83 番地 愛媛県立中央病院

糖尿病・内分泌内科 医監部長 宮内省蔵

電話 089-947-1111 FAX 089-943-4136